

正岡子規

赤き薔薇白き薔薇皆さみだるゝ

打水や虹を投げ出す大柄杓

柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺

舞ひながら渦に吸はるゝ木葉哉

〈出典 『日本詩人全集2 正岡子規・高浜虚子』(新潮社、一九六九年)〉

〔著者〕正岡子規(まさおか しき)

一八六七(慶応三)年—一九〇二(明治三五)年

俳人、歌人。愛媛県の生まれ。

〔著書〕句集『寒山落木』、歌集『竹の里歌』など